

来年度の川部会の活動計画（案）について

■テーマ① 生き物の棲みやすい川づくり：本川モデル

目標・運営方針から見る活動内容

目標：現況把握・評価（カルテ作成）の取り組みを実践しながら、将来のあるべき姿（絵）を描く。

運営方針：

「①生き物の移動阻害について」と「②微地形の多様性（瀬淵・ワンドなど）について」を、まずは優先して取り組む。

WG時の意見交換内容から見る活動提案

- WGで加茂川水門の段差解消に取り組む。
- 大見川については、豊田市の検討状況を確認していく。
- 矢作川の河川環境の目標を、多様な視点（動植物、魚、利用者など）で見る必要がある。
- 白浜工区の順応的管理手法の経過を観察し、低水路幅拡張後の河道の応答状況を確認していく。
- 瀬淵やワンドの状況を把握し、保全エリアと手を加えていくエリアを示すMAPを作成してはどうか。
- 土砂の情や詳細な河道地形の情報などの情報共有が必要である。

《来年度の活動内容（例示）》

① 生き物の移動阻害について

支川合流点評価のカルテ（案）や保全エリアマップの作成・評価の実施 / 加茂川合流点の段差改善の検討 / 現地調査の継続（未確認箇所）/ 白浜工区のモニタリング など

② 微地形の多様性（瀬淵・ワンドなど）について

瀬淵・ワンド評価のカルテ（案）作成・評価の実施 / （仮）地形の多様性MAP作成 / 微地形の把握 / 河床変動の技術的検討 など

③ 河床のアーマーコート化

総合土砂管理検討委員会との情報共有 / 必要な土砂粒径等の詳細検討 など

④ 外来種対策

外来種の最新動向の情報共有 / 駆除活動への参加 / 駆除方法等の改善の検討 など

⑤ 在来種の減少

在来種の生息状況の情報共有 / 情報資源の活用 など

⑥ 事業内容の情報共有

意見交換のポイント①

- 例示した活動のうち、来年度以降、川部会として実施したい活動を教えてください。（例示した活動以外で自分が行いたい活動でも構いません。概ね3つまで）

意見交換のポイント②

具体的な活動計画を考えていくための「実施したい活動」について以下の点を教えてください。

- 「川部会単独で実施する」「山・海部会と一緒に考える」のどちらがいいですか。

- 活動実施に向けて、自分で何ができますか。

例) 活動場所の紹介・提供 / 調査機材の提供 / 参加者の呼びかけ / 当日の運営補佐 / 調査結果のとりまとめ・分析 / データベース化 / 調査結果のPR など

- その他、活動に向けてのアイデアや留意事項などあれば教えてください。

■テーマ① 生き物の棲みやすい川づくり：家下川モデル

運営方針から見る活動内容

目標：実施中の活動の取り組み効果を
確認し、将来のあるべき姿（絵）を
描くとともに、他の場所や他の支川
への展開方法を検討。

運営方針：

「①生き物の棲みかの不足について」
を優先課題として、WGメンバ
ーで、矢作川水族館や家下川リバ
ーキーパーズ等の活動団体の活動に
参加しながら、検討に取り組む。

WG時の意見交換内容から見る活動提案

- 本川合流部の矢板切り欠き箇所は、モニタリングを継続し、対処が必要な場合には再度検討する。
- 排水機場の耐震対策の改修に伴い、承水溝－長池の段差改善の可能性を検討することを優先検討事項とする。
- 土地改良区が行う承水溝の浚渫に対して提案していく。
- 水源確保の提案について、実現可能性を検討していく。
- 承水溝－長池の段差改善や承水溝の浚渫の提案について、管理者と連携が必要である。

《来年度の活動内容（例示）》

① 生き物の移動障害について

移動障害箇所の情報収集 / 排水機場の改修に伴う段差解消方法の検討 / 矢板切り欠き箇所のモニタリング など

② 生き物の棲みかの不足について

設置効果の確認 / 改良方法や他の場所への展開の検討 / 承水溝の浚渫に対する提案 など

③ ひょうたん池（長池）の水量不足について

水源（家下川、農業用水、地下水など）の情報収集 / 水量確保の可能性検討 など

意見交換のポイント①

- 例示した活動のうち、来年度以降、川部会として実施したい活動を教えてください。
（例示した活動以外で自分が行いたい活動でも構いません。概ね3つまで）

意見交換のポイント②

具体的な活動計画を考えていくための「実施したい活動」について以下の点を教えてください。

- 「川部会単独で実施する」「山・海部会と一緒に考える」のどちらがいいですか。
- 活動実施に向けて、自分で何ができますか。
例) 活動場所の紹介・提供 / 調査機材の提供 / 参加者の呼びかけ / 当日の運営補佐 / 調査結果のとりまとめ・分析 / データベース化 / 調査結果のPR など
- その他、活動に向けてのアイデアや留意事項などあれば教えてください。

■テーマ② 地先の課題：地先モデル

目標・運営方針から見る活動内容

目標：関係機関調整の場の提供と（仮）専門家リストの作成・試行的運用、個別課題の情報共有、解決の方向性検討の進展

運営方針：

「河川空間利用に関する調整の場の提供」と「（仮）専門家リストの作成」を優先的に検討する。

各課題の情報共有と解決の方向性を検討する。

地先の活動団体等をリスト化し、情報共有の場を提供する。

WG時の意見交換内容から見る活動提案

○活動を軌道に乗せるには、矢作川研究所のような行政と市民の間に立つ調整役が必要か、また、どのように体制を構築していくかについて今後検討していく必要がある。

○行政のバックアップが重要であることを確認。

○活動場所をきれいに保つことが、マナー違反の抑止につながることを確認。

○マンパワー不足に対して、地元の若い世代との連携が有効である。

○専門家リストについては、各組織より各分野のキーパーソンや活動団体の情報提供を行う必要がある。

《来年度の活動内容（例示）》

① 活動環境に関する課題について

活動団体へのヒアリング（地先の課題の抽出）／個別課題の情報共有／個別課題の解決の方向性の検討 など

② 活動推進上の課題について

河川空間利用の調整（関係機関、市民意見の反映）の場の提供／（仮）専門家リストの作成・試行運用／課題解決の方向性の検討 など

意見交換のポイント①

- 例示した活動のうち、来年度以降、川部会として実施したい活動を教えてください。（例示した活動以外で自分が行いたい活動でも構いません。概ね2つまで）

意見交換のポイント②

具体的な活動計画を考えていくための「実施したい活動」について以下の点を教えてください。

- 「川部会単独で実施する」「山・海部会と一緒に考える」のどちらがいいですか。

- 活動実施に向けて、自分で何ができますか。

例) 活動情報・人材の紹介／イベントの実施支援／参加者の呼びかけ／学校との調整／改善個所の提供／調査活動の支援など

- その他、活動に向けてのアイデアや留意事項などあれば教えてください。

■川部会の活動運営に向けて

《来年度の活動運営の考え方》

- ① できるだけ多くの人に参加してもらうため、川部会メンバーが参加したい活動を中心に行います
- ② 川部会メンバーの主体的な参画に基づき、活動を実施します。
- ③ 活動は概ね月 1 回程度を想定します。



意見交換のポイント

- 意見交換で出された「活動内容」について、来年度、どの活動から実施していきたいですか。その優先順位を教えてください。
- その他、活動運営・体制に対しての意見やアイデアがあれば教えてください。
例) 活動頻度、流域全体で集まるしくみづくりや山・海との連携アイデアなど